

平成27年度の予算が決定

市のお金の使い方

平成27年度の市の予算は、3月に行われた市議会の第1回定例会で議決され、成立しました。
今号では、平成27年度予算について、グラフを使ってお知らせします。

▶問い合わせ 財政グループ (☎851331)

一般会計

市の9つの会計のうち、福祉や教育、経済対策など、市の基本的な事業を行うのが『一般会計』です。
平成27年度の一般会計予算は202億2千万円となりました。前年度に比べ2千800万円増加しています。内訳は、公債費（借金を返済するためのお金）が約3億2千万円減少しましたが、普通建設事業費（学校の耐震化や道路の整備などに使うお金）が約3億9千万円増加しました。

特別会計

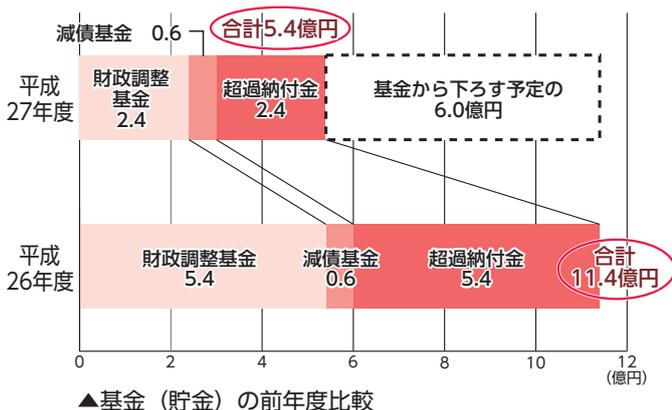
『特別会計』とは、国民健康保険事業や介護保険事業など、使途が決まった収入（保険料や使用料など）で運営する事業を行うもので、市には6つの特別会計があります。予算の合計は、121億1千520万円です。

公営企業会計

『公営企業会計』とは、民間企業同様、独立採算を原則とする事業を行うもので、市には、水道事業と下水道事業があり、予算の合計は51億9千370万円となりました。

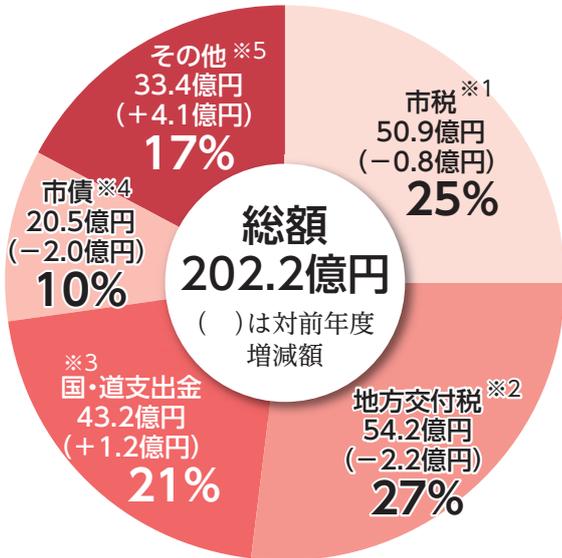
平成27年度の予算では、貯金を6億円下ろします

平成27年度の支出を見積もったところ、202億2千万円となりましたが、収入は196億2千万円の見込みとなったため、基金（貯金）から6億円を下ろす予定です。
しかし、収入の急激な減少など、いつ起こるか分からない緊急事態に対応するためには、皆さんの家計と同じく、一定の蓄えが必要ですので、できるだけ貯金を下ろさないよう、支出を節約し収入の増加に努めていきます。



歳入 (収入)

皆さんに納めていただく『市税』と国から交付される『地方交付税』が収入の半分以上を占めています。



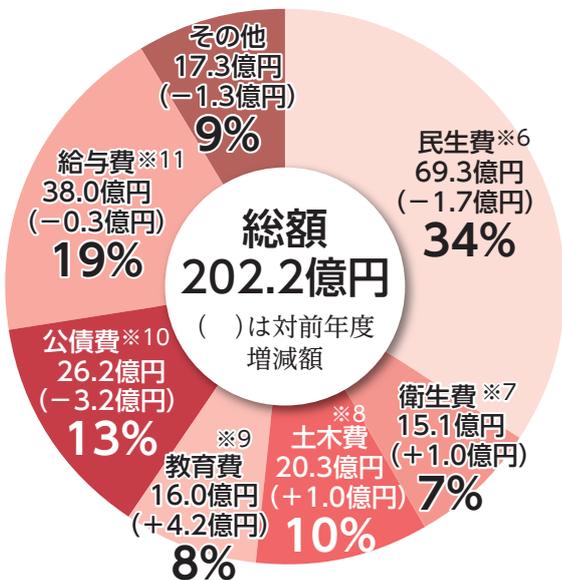
消費税率の引き上げなどに伴い、地方消費税交付金が大きく増加する見込みとなったことから、『その他』の収入が大きく増加しています。

また、地方交付税は国の状況により交付額が左右されるため、安定的な財政運営には市税収入を多くすることが肝心ですが、登別市では地方交付税が市税を上回っています。

- ※1 市税：市民税や固定資産税などのお金
- ※2 地方交付税：人口や市税収入などに応じて国から交付されるお金
- ※3 国・道支出金：特定の事業に対し国や道から交付されるお金
- ※4 市債：市の借金
- ※5 その他の収入：公共施設の使用料やサービスの手数料、基金（貯金）などを下ろしたお金などが含まれています

歳出 (支出)

医療や福祉に使う『民生費』が支出の3割以上、借金を返済するための『公債費』が約1割を占めています。



教育費は、鷺別小学校の建て替え事業や青葉小学校の耐震化・改修事業などにより前年度に比べ大きく増加しています。

また、公債費は、過去に建設した大型施設の借金返済が終了したため減少しています。

- ※6 民生費：医療や福祉などに使うお金
- ※7 衛生費：市民の健康増進やごみ処理などに使うお金
- ※8 土木費：道路や公園、市営住宅などの建設や維持管理に使うお金
- ※9 教育費：学校の運営や校舎の建設などに使うお金
- ※10 公債費：借金を返済するためのお金
- ※11 給与費：職員に給料や退職金を支払うためのお金

平成27年度

主なお金の 使い道



市は、平成27年度に、これまで説明した予算によりさまざまな事業を行います。
市民の皆さんのニーズを踏まえ、次の5つのポイントに沿って予算を編成しました。ここでは、主な取り組みの一部を紹介し

問い合わせ 財政グループ (☎85) 1331

ぬくもりある地域で
共に支えあうまちへ

—子育てや高齢者など、
世代に応じた支援—

自然と調和し、安全・安
心に暮らすことのできるま
ちへ

—防災・減災への対応—

隔年実施 総合防災訓練の 実施

234万円

地震や大津波を想定し、防災関係機関や地域住民などが参加する、総合防災訓練を登録地区で実施します。▲非常持出袋



新規 安心キット配付 事業補助金

100万円

高齢者などの緊急時の安否確認や的確な状況把握手段に活用するため、社会福祉協議会が推進する安心キット配付事業に補助をします。

新規 鷺別児童館 の移転改築

354万円

鷺別小学校隣接地に、放課後児童クラブ、子育て支援センター機能を併せ持つ鷺別児童館を整備するための基本設計を行います。

再生可能エネルギー等 導入の推進

1億1,394万円

平常時のCO₂削減、災害時の照明用電源や温水の確保のため、総合福祉センターに蓄電付太陽光発電システムや太陽熱利用給湯システムなどを設置します。

新規 化学消防ポンプ 自動車更新

5,363万円

消防署配置の化学消防ポンプ自動車1台を更新します。▲化学消防ポンプ自動車(更新するものと同型車)



新規 重度障害児入浴 サービス事業

545万円

自宅での入浴が困難な重度の障がい児を対象に入浴サービスを実施します。

地域で学び、
地域とともに育てるまちへ
— 教育環境の整備や
学校と地域連携の推進 —

小学校の建て替えや 耐震化・改修

5億2,840万円

青葉小学校の耐震補強のほか、校舎外部の改修を行います。
また、鷲別小学校の校舎の建て替えに着手するほか、既存体育館の解体を行います。

コミュニティスクール への活動支援

116万円

学校・保護者・地域が一体となり、登下校の見守りや自然・社会体験行事などを行う『コミュニティスクール』の活動を支援します。

総合体育館の耐震化・ 改修

1億8,168万円

総合体育館の耐震補強、屋根・外壁の改修、アリーナなどの内部や玄関部分の改修などを行います。

堅固な都市基盤の創造と
緑あふれる美しいまちへ
— 公共施設の整備や
長寿命化の推進 —

都市公園の長寿命化や トイレの整備

6,580万円

公園の延命化を図るため、公園の長寿命化計画に基づき、計画的な改修を行うほか、トイレのバリアフリー化や水洗化を行います。

老朽化した市営住宅の 建て替え

8,673万円

老朽化が進む市営住宅（千代の台団地）の建て替え（平成28～31年度建設予定）を行うため、基本設計と実施設計を行います。

きょうりょう 橋梁の長寿命化

5,390万円

橋梁の延命化を図るため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的な改修を行います。



▲改修を予定している
登別橋（登別本町）

地場産業の躍進により
さまざまな人が集うまちへ
— 活力ある産業活動の躍進 —

登別温泉観光施設の改 修

2,667万円

登別温泉の地獄谷の木道や大湯沼川探勝歩道、天然足湯広場の床板・床梁・手すりが腐食などにより劣化が進んでいるため、改修を行います。

新規 エゾシカ肉普及 の推進

36万円

エゾシカ肉を身近な食材としてPRするため、市内で開催されるイベントなどで、エゾシカ肉の提供や試食を実施します。

登別ブランド推進事業 補助金

300万円

登別ブランド推進協議会に対して、登別ブランド推奨品やご当地グルメの認知向上のためのPR活動に要する経費を補助します。